

注3 **大学番号：私146**

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の課程変更

注1

届出

杏林大学大学院 保健学研究科博士後期課程 看護学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園
平成24年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	八王子事務部教務課
職名・氏名	カチョウ イガラシ カズオ 課長・五十嵐 一夫
電話番号	042-691-8713
（夜間）	042-691-0011
F A X	042-691-1094
e-mail	igarashi@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 杏林学園

(2) 大学名

杏林大学

(3) 大学の位置

〒181-8611
東京都三鷹市新川六丁目20番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年4月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(アトミ ユタカ) 跡見 裕 (平成22年4月)		
学部長	(オオタキ ジュンイチ) 大瀧 純一 (平成18年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
保健学研究科 看護学専攻 （博士後期課程） 博士（看護学）	3年	2人	6人	基礎となる学部等 保健学部看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	2人 (2) [-]	0人	2人 (2) [-]	0人	2人 (2) [-]	0人	0.33倍	
志願者数	1 (1) [-]	0 (0) [-]	1 (1) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]		
受験者数	1 (1) [-]	0 (0) [-]	1 (1) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]		
合格者数	1 (1) [-]	0 (0) [-]	1 (1) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]		
B 入学者数	1 (1) [-]	0 (0) [-]	1 (1) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]	0 (0) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.5		0.5		0			

- (注) ・ 数字は，平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には，社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には，留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出** してください。なお，計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，**計算の際は「入学定員超過率」と同様に** してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 1	[-] 0	[-] 1	[-] 0	[-] 0	[-] 0	
2年次	/		[-] 1	[-] 0	[-] 1	[-] 0	
3年次	/		/		[-] 1	[-] 0	
計	[-] 1	[-]	[-] 2	[-]	[-] 2	[-]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成21年度入学者	- 人	- 人	平成21年度	人	人		-
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度入学者	1 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度入学者	1 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度入学者	0 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	2 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	136,727.16 m ²	— m ²	— m ²	136,727.16 m ²			
	運動場用地	14,570.00 m ²	— m ²	— m ²	14,570.00 m ²			
	小 計	151,297.16 m ²	— m ²	— m ²	151,297.16 m ²			
	そ の 他	34,950.65 m ²	— m ²	— m ²	34,950.65 m ²			
	合 計	186,247.81 m ²	— m ²	— m ²	186,247.81 m ²			
(2) 校 舎	専 用	74,221.81m ² (74,221.81m ²)	— m ² (— m ²)	共用する他の 学校等の専用 (— m ²)	計 74,221.81m ² (74,221.81m ²)	大学全体		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	93室	105室	37室	9室 (補助職員 人)	3室 4室 (補助職員 人)	大学全体		
	92室							
	90室							
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 保健学研究科看護学専攻(博士後期課程)		室 数 9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分 図書 15,600冊 〔31冊〕 学術雑誌 59種〔0種〕
		保健学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	1,995 [34] (1,995 [34])	121 [15] (121 [15])	0 [0] (0 [0])	438 (438)	0 (0)	
	計	1,995 [34] (1,995 [34])	121 [15] (121 [15])	0 [0] (0 [0])	438 (438)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館として使用していた場所 を別の用途で使用することとなり、減少(24)	
	4,784m ² 5342-13m ²		672 681		432,999 515,285			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	12,894.53m ²		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチェリー練習場1					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	197千円	262千円	図書購入費	191千円	349千円	449千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	4,353千円	1,628千円	2,093千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,050千円	600千円	600千円	—千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等を充当する。						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学部									
医学科	6	117	—	630	学士(医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
保健学部									
臨床検査技術学科	4	80	2年次6 3年次4	346	学士(保健衛生学)	1.21	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地	
健康福祉学科	4	20	2年次6 3年次4	166	学士(保健衛生学)	1.17	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地	
看護学科	4	120	2年次2 3年次8	442	学士(看護学)	1.13	H6年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
臨床工学科	4	40	—	160	学士(臨床工学)	1.30	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
救急救命学科	4	40	3年次5	170	学士(救急救命学)	1.24	H19年度	東京都八王子市宮下町476番地	
理学療法学科	4	40	—	160	学士(理学療法学)	1.18	H21年度	東京都八王子市宮下町476番地	
作業療法学科	4	40	—	80	学士(作業療法学)	1.16	H23年度	東京都八王子市宮下町476番地	
総合政策学部									
総合政策学科	4	170	3年次10	700	学士(総合政策学)	1.09	S59年度	東京都八王子市宮下町476番地	
企業経営学科	4	100	3年次5	410	学士(企業経営学)	1.09	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
外国語学部									
英語学科	4	120	3年次5	470	学士(文学)	1.13	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	
中国語・日本語学科	4	—	3年次13	—	学士(文学)	0.85	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	平成23年より学生募集停止
中国語学科	4	30	3年次15	60	学士(中国語コミュニケーション学)	1.11	H23年度	東京都八王子市宮下町476番地	
応用コミュニケーション学科	4	—	3年次2	—	学士(文学)	1.12	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地	平成23年より学生募集停止
観光交流文化学科	4	70	3年次3	213	学士(観光交流文化学)	1.17	H22年度	東京都八王子市宮下町476番地	
医学研究科(博士課程)	4	34	—	136	博士(医学)	0.40	S51年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
保健学研究科									
保健学専攻(博士前期課程)	2	7	—	14	修士(保健学)	1.07	S59年度	東京都八王子市宮下町476番地	
看護学専攻(博士前期課程)	2	7	—	14	修士(看護学)	0.50	H20年度	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
保健学専攻(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(保健学)	0.75	S61年度	東京都八王子市宮下町476番地	
看護学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(保健学)	0.33	H22年度	東京都八王子市宮下町476番地	
国際協力研究科									
国際開発専攻(博士前期課程)	2	25	—	50	修士(開発学)	0.04	H5年度	東京都八王子市宮下町476番地	
国際文化交流専攻(博士前期課程)	2	22	—	44	修士(学術)	0.59	H5年度	東京都八王子市宮下町476番地	
国際医療協力専攻(博士前期課程)	2	12	—	24	修士(国際医療協力)	0.33	H16年度	東京都八王子市宮下町476番地	
国際言語コミュニケーション専攻(博士前期課程)	2	14	—	28	修士(言語コミュニケーション学)	0.64	H21年度	東京都八王子市宮下町476番地	
開発問題専攻(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(学術)	0.60	H7年度	東京都八王子市宮下町476番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	外国語学部観光交流文化学科 の入学定員超過の是正に努め ること。	平成22年度入学者は93名と入 学定員(70名)の1.33倍であっ た。 平成23年度入学試験におい ては、一般・センター試験の合 格基準点の見直しと入学率を 精査し、適正な合格者数を発 表した結果、正規合格者で入 学定員を満たす結果となっ た。入学定員70名に対して、 入学者は83名で1.19倍となっ た。	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月)	保健学部臨床工学科の入学定 員超過の是正に努めること。	保健学部臨床工学科は、平 成23年度入学者が66名と、入 学定員(40名)の1.65倍で あった。 平成24年度入学試験におい ては、推薦入試、一般入試及び センター試験の合格基準点の 見直しを図り、正規合格者の 数を昨年より少なく発表した (正規合格者:23年度128名 →24年度78名)。また、補欠 者の繰上げ合格を行った際 は、入学手続き状況を見なが ら、1名ずつ慎重に合格を出 した。 その結果、40名の定員に対 して、40名の入学者(1.0 倍)となった。	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<保健学研究科 看護学専攻・博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会(学部・研究科)を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 運営委員会は、毎月1回開催し、研究科長、教務部長、学生部長、その他の委員(教員)6名で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、自己点検・評価に関する事項、FDに関する事項、について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業方法についての研究会(外部講師による講演会等) ②授業評価アンケート(平成24年度実施予定) ③教員相互の授業参観 ④教員評価 ⑤新任教授・准教授による講演会の開催 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外部講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。 ②毎年2回新任教授・准教授による講演会を実施し、大学院生には出席を義務づけている。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①講演は、年に数回程度実施しており、多数の教員が参加している。 ②年1回、授業見学を実施している。多数の教員が授業見学及び討論会に参加している。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>現代社会の看護・保健の領域における複雑かつ多様な看護ニーズに応えるために、博士前期課程で培ってきた看護学の教育・研究をさらに深め、学際的・国際的な視野に立った高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有した研究者・教育者を養成することを目的とし、平成22年4月に開学した。現在、教育経験豊かな教員を専任教員として採用し、より高度できめ細かな看護教育の実践に努めている。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・年1回公表している。（例年2月頃）</p> <p>b 公表方法</p> <p>・杏林大学の現況（自己点検・自己評価のためのデータブック）を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。</p>
--

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
- また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
- なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (H 2 4 年 7 月 予定)</p>
